



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第四〇八号）

大雪 たいせつ

十二月七日

無常迅速 むじょうじんそく

師走十二月、今年も最後の月を迎えました。

今年は映画監督の小津安二郎の生誕一二〇周年。小津監督は大正五年（一九一六）から同十年まで伊勢市の宇治山田中学（現宇治山田高校）に通い、寄宿生活をしていたときもありました。伊勢ゆかりの人物でもあります。まめに日記をつけていたので、研究が進み、伊勢での暮らしぶりがかがえます。

そして、小津監督が友人に出した手紙も残っています。昭和三十四年、三重県にも甚大な被害をもたらした伊勢湾台風に襲われた年です。小津は中学の仲間や知り合いを心配し、台風が去った直後の九月二十八日、中学の旧友、吉田与蔵にあてて出しました。

「無常迅速。もう一度中学生になり度いなあ 会ひ度い会ひ度い

もう一度中学生になり度いなあ」

「もう一度中学生になりたい」と素直な気持ちを繰り返した文面に惹かれました。そして、冒頭の「無常迅速」は難しいですが、もともとは仏教のことばで、人の世の移り変わりが非常に速いこと。人生がはかないこと。また、死が思いがけず早くやってくる意味があります。この四字熟語は、禅寺の修行道場にかかる版木の文字「生死事大 せいじじだい 光陰惜しむべし こういん 無常迅速 時人を待たず」（生死は一生の一大事、時間を惜しんで生きる。あらゆる事象は無常にも迅速に変化、時は人を待ってくれない）からきています。今、この瞬間を大切に生きよということでしょう。物理学者で文学者の寺田寅彦が「無常迅速は実にわが国の風土の特徴であるように私には思われる。」と記すなど、かつての文化人はよく使っていたようです。

無常迅速、一年の最後の月に響くことばです。

文 千種清美

おかげの里便り

おかげ横丁

とし ○ 歳の市

おかげ横丁では、しめ縄作りなど、昔ながらの風習に触れる、お正月のことはじめ「歳の市」を開催いたします。

「歳の市」で福をお持ち帰りいただき、晴れやかな気持ちで新年をお迎えてください。

日 時／12月9日(土)～12月28日(木) 10:00～17:00

場 所／おかげ横丁一帯

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。

● お正月の支度市

新年を気持ちよく迎えるために欠かせない、しめ縄など招福縁起の飾りものやお年賀として準備しておきたい品々を取り揃えます。

日 時／12月7日(木)～25日(月) 9:30～17:00

場 所／赤福 本店別店舗

● お正月寄せ植え作り

松や南天などお正月らしい植物を使って小さな寄せ植えを作りましょう。

日 時／12月9日(土)～28日(木) 10:30～16:00

場 所／伊勢路裁苑 ※12月9日、10日のみ「孫の屋三太」前特設会場

料 金／3,960円 (税込)

所要時間／約30分

● 冬至 いとこ煮のお振る舞い

いとこ煮とは、冬至に食べると病気にかからないという小豆と南瓜と一緒に煮たものです。

忙しい歳の瀬を元気に過ごしていただけますように、限定200食をお振る舞いいたします。

日 時／12月22日(金) 11:00～ なくなり次第終了

場 所／おかげ横丁「太鼓櫓」周辺

お問い合わせ/おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 伊勢観光の近代

かつて、伊勢神宮・檀原神宮・熱田神宮と歴代の天皇陵をめぐるいわゆる「聖地巡拝」が推奨され、観光旅行や修学旅行で多くの人々が伊勢を訪れました。神苑整備や外宮と内宮を結ぶ御幸道路の建設、「大神都聖地計画」の概要などを豊富な画像を用いてご紹介しながら、戦前の人々が楽しんだ伊勢観光の旅の様子を長谷川講師が解説していただきます。

過去を知ることで現在の伊勢観光の楽しみ方のヒントも見つかるかも知れません。

日 時／12月19日(火) 13:30～15:00

講 師／長谷川 怜 (皇學館大学文学部国史学科准教授)

参加費／一般 1,400円 会員 900円

場 所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

ゆ す
柚 子

柚子は、古くから日本人の暮らしの中で親しまれてきた柑橘類です。その素晴らしい香味をお届けします。村雨生地仕立ての彩りも爽やかな一品です。

ほ がき
干 し 柿

伊勢路の家々の軒下に吊るされる干し柿は、初冬の風物詩のひとつです。柿餡を餅生地で包み、干し柿の姿をそのまま写し取りました

ふゆ
冬 な ご み

師走のきびしい寒さの庭に千両万両の赤い実が目にとまります。二色のきんとんで粒餡を包みました。心なごむ冬の情景です。